

図面を正しく理解するための 図面の読み方セミナー

基礎編

初心者向け 1日コース

平成29年9月14日(木)

9時～17時

日本経済の土台を支える【ものづくり】の現場に欠かせない図面。その図面には様々な環境を考慮し、こうあるべきだと伝える設計者の思いが込められています。

設計者の意図する部品を正しく製作することはもちろん、正しく手配し、正しく検収し、正しく保管管理することが現場の基本であり、そのためには図面情報を読み取る基本的なルールを理解することが前提となります。

このコースでは、三角法や断面図での図面の読み方、線の種類と用法、溶接記号、表面粗さ・加工方法の記号、寸法の許容限界、はめあい公差、検図での考え方等についての基本を学びます。

狙い 》 図面に記載された各種情報を読み取り設計者の意図を正しく理解できる基礎知識を習得する。

対象 》 図面に対して特殊な教育を受けていないが、仕事上図面を読み取る必用のある初心者の方、製造担当者（機械加工、溶接、組立等）、発注業務担当者、受け入れ検査担当者、品質検査担当者、サービス担当者営業担当者の方など。

募集人数 》 40名

会場 》 広島市工業技術センター（広島市中区千田町）

主催 》 特定非営利活動法人 ATAC ひろしま

共催 》 公益財団法人広島市産業振興センター

後援 》 広島市産業振興部 ものづくり支援課
広島信用金庫

◆受講者持参品(当日簡単な演習を行います 1H程度)

①筆記用具（シャープペン含む）・②消しゴム・③目盛付き定規・④ノリ・⑤ハサミ